

歴認研活動記録

歴認研活動履歴（平成30年9月以降）

平成30年(2018)

- 11月 8日(木) 産経新聞に意見広告（併せて下記緊急集会の告知）
「韓国最高裁の戦時労働員への賠償判決に抗議する！」
- 11月26日(月) 韓国の不当判決に抗議する緊急集会（参議院議員会館101会議室）
登壇者：新藤義孝・長尾敬・中山恭子・松原仁・衛藤晟一・
櫻井よしこ・西岡力・中野正志・杉田水脈（登壇順）
司 会：高橋史朗
- 12月12日(水) 歴史認識問題研究会講演会（文京区民センター）
「韓国人戦時動員の真実」
講 師：西岡 力「戦時労働者問題の全体像」
勝岡寛次「朝鮮人戦時労働者(所謂「徴用工」)の実態について
—韓国大法院判決の原告を中心に—」

定期研究会開催記録（第36回～第41回）

回	日時	講師(肩書)	テーマ
36	30. 9.21	山下 英次(大阪市立大学名誉教授)	ジュネーブにおける国連人種差別撤廃委員会報告
		山本 優美子(なでしこアクション代表)	
		マリノフ 利江(トロント在住)	「トロント最新情報—南京大虐殺プロパガンダと戦う日本人」
		岡本 裕明(バンクーバー在住)	「バンクーバーの慰安婦像をめぐる問題」
		川久保 剛(麗澤大学准教授)	歴史認識問題研究の新動向と規範的アプローチ導入の必要性について(紀要第2号・第3号の拙稿を紹介しつつ)
37	30.10.26	高橋 史朗(麗澤大学大学院特認教授)	朝鮮人慰安婦虐殺映像の米国立公文書館調査報告
		長谷 亮介(歴史認識問題研究会事務局)	戦後歴史学における歴史叙述の変化
38	30.11.30	勝岡 寛次(明星大学戦後教育史研究センター・ 歴史認識問題研究会事務局長)	国連NGO「反差別国際運動」(IMADR)が果たした役割について
		山本 優美子(なでしこアクション代表)	国連人権委員会とNGO意見書—最終意見書と日本社会への影響
		山岡 鉄秀(モラロジー研究所研究員)	歴認研の海外発信のあり方について—学術的アプローチと情報戦的アプローチの峻別と実践
39	30.12.21	西岡 力(麗澤大学客員教授)	朝鮮人戦時労働者の真実—全体像と課題
		勝岡 寛次(明星大学戦後教育史研究センター・ 歴史認識問題研究会事務局長)	朝鮮人戦時労働者（所謂「徴用工」）の実態について —韓国大法院判決の原告を中心に—
40	31.01.25	下條 正男(拓殖大学教授)	歴史認識問題としての竹島問題と韓国の竹島教育
		岡田 邦宏(日本政策研究センター所長)	朝鮮人戦時動員は強制労働問題なのか？
41	31.02.22	緒賀 正浩(明星大学大学院博士課程)	占領期における教育勅語処理問題から現在の日本をめぐる 歴史認識を考える
		貝塚 茂樹(武蔵野大学教授)	「教育勅語批判の検討」について